

# 「神石牛を有名にしよう！」

本単元で育成する資質・能力

「探究力」「思考力・判断力・表現力」「メタ認知力」  
「協働・合意形成意欲」「地域貢献力」「本質を志向する価値観」

※なお、本校では、上記の資質・能力を児童及び教諭間で共有するために、次の名称を用いている。

「自分事の問い追究力」(探究力)、「かんがえ力」(思考力・判断力・表現力)、「ふりかえり力」(メタ認知力)

「みんなと解決したい気持ち」(協働・合意形成意欲)、「引き受ける心」(地域貢献力)、「するどい目」(本質を志向する価値観)

## 1 単元について

(64 時間扱い)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元	神石牛と触れ合おう (23 時間)			神石牛農家の思いを引き受けよう (23 時間)			神石牛を有名にしよう (18 時間)					

## 2 児童観

### (1) 児童の学習経験や日常の児童の様子から

本学級の児童は、これまで、自分たちが住む神石高原町には、どのような課題があるのか調べることからスタートし、わが町の人口減少の事実を知り、どのようにすればわが町が活性化するのか、悩みながら学習を進めてきた。そのなかで、神石高原町の中心産業である農業の一つ、神石牛の繁殖・肥育について知った。わが町の人口を増やすためには、もっと神石高原町のよさを知ってもらい、たくさんの人に住んでほしいと考え、そのために自分たちにできることは何かを考え、神石牛を有名にすることでたくさんの人にわが町を知ってもらい、産業を活性化することで人口を増やしていく方法を模索してきた。また、今年度、昨年度の取組「小田川をよりよくしよう」の単元をきっかけに、環境衛生課からの依頼を受け、「小田川を環境をよりよくしよう」とさらに、取組を進めてきた。これらの活動を通して、地域の課題を「引き受ける」ことや、引き受けた課題をもとに解決に向けて「自分事の問い」として追究し取り組むという経験をしてきた。そのなかで、自分たちが行動するときには、他者との関わりが生まれ、他者に対しての対応の大切さを実感してきたところである。

日常生活においては、自分やまわりの状況における課題を把握し、その課題を自分事としてとらえ、どのように解決していくことがよりよいのかを考えることがまだ十分ではない。

### (2) アンケートから

児童の資質・能力及び態度の実態を明らかにするために以下のアンケートを行った。

資質・能力		アンケート項目	結果 (人数)	
学習方法	スキル	授業では解決しようとする課題について「たぶんこうではないか。」「こうすればできるのではないか。」と予想しています。	とてもそう思う	
			そう思う	
	あまりそう思わない			
	そう思わない			
	かんがえ力	授業では、情報を比べたり (比較)、仲間分けしたり (分類) 関係を見付けたり (関係付け) して何が分かるのかを考えています。	とてもそう思う	
			そう思う	
	あまりそう思わない			
	そう思わない			

自分 自身	スキル	ふりかえり力	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか。」「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えられています。	とてもそう思う	
				そう思う	
	価値観 倫理観	するどい目	振り返りをする時、「結局〇〇ってこういうことだな。」と単元の学びを全て結びつけて考えたり、総合の学習を通して「生きるってこういうことが大切なのかな。」と考えたりします。	とてもそう思う	
				そう思う	
他者 や 社会	意欲 態度	みんなと 解決したい 気持ち	友達と話し合う時、小さな意見の違いは大きな違いにつながると考えて、お互いが納得のいく考えをつくろうとしています。	とてもそう思う	
				そう思う	
	価値観 倫理観	引き受ける心	友達や、地域の人がもっている悩みを解決したり、願いを達成してあげたりしたいと思います。	あまりそう思わない	
				そう思わない	

省略します。

### 3 単元観

#### (1) 本学習材のねらいについて

##### 本学習材における「生き方」について

【本質的な問い】神石牛を有名にするにはどうしたらよいのだろうか。

本学習材は、神石高原町の特産である神石牛を有名にすることをめざすなかで、地域の方（神石牛繁殖農家、神石牛肥育農家）の課題を自分事として引き受け、他者と協働しながら、取り組む方法を考え、実際に行動するために必要な相手方との交渉などを経験することを通して、互いに思いを伝えあい、他者と折り合いをつけながら行動したり、地域に愛着をもちながら課題に対して、自分の考えをもち、様々な選択肢の中からめざす生き方を選んだりする生き方に迫ることをねらいとしている。

##### 学習材の魅力（学習材自体の価値や子どもにとっての魅力、GTの生き方）

本単元では、神石高原町の産業について考える。児童は、昨年度、地域の自然環境について考え、地域の自然を大切にしたいという思いや、環境改善に尽力されている方々の生き方を知り、神石高原町をよりよくしたいという思いをもっている。

本単元は、自分たちが住んでいる神石高原町の人口が減ってきていることをきっかけに、神石高原町の中心産業である農業に目を向け、わが町を活性化する方法を考えていくなかで、他者と触れ合い、自分たちの取組を決めていくことで、児童は他者と協働し、合意を形成していくことのよさや難しさを感じるとともにその必要性を感じることができると考える。神石牛を繁殖・肥育されている農家の方の思いを引き受け、自分の住む町を活性化する方法の一つとして神石牛を有名にする思いをもち意欲的に取り組むことができると考える。

また、事前に関係者と連携をとり、児童の資質・能力の育成につながるよう、様々な場面で他者評価を児童がうけ、自己肯定感、自己有用感を感じさせることもできる。

#### 4 指導観

指導にあたっては、以下の工夫を行う。

##### (1) 自分事の問いの追究(主体的な学びの視点)

神石高原町の現状を調べたり、神石牛の繁殖・肥育農家を見学したりした経験をもとに、自分たちが住む神石高原町を活性化したいという思いをもち、農家の方の願いを引き受け、「何とかして神石牛を有名にしたい」という思いをもたせていきたい。そして、これまでの経験を活かしながら、自分たちが真剣に協力を願えば、地域の方がご協力くださることを実感し、地域とともに取り組むことの素晴らしさを感じさせたい。また、目的別にグループを構成しそれぞれに自分の力で取組を進めさせることで、一人一人が主体的に取り組むやすいようにする。

##### (2) 学び合い(対話的な学びの視点)

児童どうして話し合うなかで、一人一人の考えを大切にしながら、小さな違いは大きな違いにつながるととらえて折り合いをつけながら話し合っている態度を評価し、小さな違いにも着目させ、合意を形成させていく。具体的な取組を決定していくなかで、決定することの責任を意識させ、一つ一つの決定を注意深く話し合っ決めていく場を設定する。

##### (3) 深く(深い学びの視点)

振り返りシートを活用し、自分の目標、取組、成果と課題を毎時間振り返らせたり、教師の形成的評価をコメントで書いたりすることで、探究の質を向上させる。また、自分たちが考えた方法を実行するにあたり、自分たちだけではできないことについて、どのような方法を選ぶことがよいか検討しながら、他者に相談したり、協力を願ったり、交渉したりするという、他者とかかわりながら生きるということを体験し、今後の自分の生き方を考える一助としたい。

#### 5 本単元で設定した目標

	観点	目標
学習方法	自分事の問い追究力	・自分が考える神石高原町の課題を明らかにし、その改善策の実行に向けて探究を進め、実行することができる。
	かんがえ力	・これまでに調べたり取り組んだりした経験のなかから、課題を解決する上で適切と考える方法を、理由をもって選ぶことができる。
自分自身	ふりかえり力	・作業の進捗状況や自分の取組を振り返り課題を見つけ改善することができる。
	するどい目	・触れ合う大人のよさに目を向けながら自分の成長を振り返ろうとする。
他者や社会	みんなと解決したい気持ち	・児童どうして取組について意見を出し合ったり、関係機関に協力を願ったりしながら、取組を進めようとする。
	引き受ける心	・農家の方の思いや願いを受け、何とかして神石牛を有名にする方法を考え実行しようとする。

#### 6 本単元で設定した評価規準

	観点	評価規準
学習方法	自分事の問い追究力	・自分が考える神石高原町の課題を明らかにし、その改善策の実行に向けて探究を進め、実行できている。
	かんがえ力	・これまでに調べたり取り組んだりした経験のなかから、課題を解決する上で適切と考える方法を、理由をもって選ぶできている。

自分自身	ふりかえり力	・作業の進捗状況や自分の取組を振り返り課題を見付け改善することができる。
	するどい目	・触れ合う大人のよさに目を向けながら自分の成長を振り返ろうとしている。
他者や社会	みんなと解決したい気持ち	・児童どうして取組について意見を出し合ったり、関係機関に協力を願ったりしながら、取組を進めようとしている。
	引き受ける心	・農家の方の思いや願いを受け、何とかして神石牛を有名にする方法を考え実行しようとしている。

## 7 指導と評価の計画（全 18 時間）

過程	時	○学習活動・◆内容	評価規準（評価方法）
自分事 の問い の設定	1 2	<p>○どのような方法で神石牛を有名にするか話し合う。</p> <p>◆自分たちは神石高原町のこれからをどのようにしたいのかを考え、話し合う。</p> <p>◆神石牛を有名にするという目的に合う方法を出し合い、内容ごとにグループを構成する。（本時）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>神石牛を有名にするために、自分たちにできることは何だろう。</p> <p>神石牛を使ったメニューを考えてみようかな。</p> <p>キーホルダーみたいなものを手作りしたいな。</p> <p>誰にでも見てもらえるような動画を作ったらどうだろう。</p> <p>ゆるキャラがいるとアピールしやすいかもしれないな。</p> </div>	<p><b>引き受ける心</b></p> <p>・神石牛の繁殖農家、肥育農家の方の願いを引き受けようと決意している。（振り返り）</p>
情報 収集 ・ 整理 分析	3   7	<p>○グループごとに、神石牛を有名にするための取組を進める。</p> <p>◆グループごとに取り組み方を話し合い、作業をする。</p> <p>◆現状→課題→取組方法が一連のつながりのあるものになっているか考える。</p> <p>◆取り組んできたことをどこでどのように伝えるかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>大人から子どもまで食べやすい神石牛バーガーはどうか。自分たちで作ってみよう。</p> <p>マスコットが付いたストラップだったらいつでも見られるし、喜んでもらえると思うな。</p> <p>動画で何をどう伝えれば、神石牛のことをたくさんの若い人に知ってもらうことができるかな。</p> <p>全国にはたくさんのゆるキャラがいるけれど、神石牛のゆるキャラはどんなデザインがよいか。着ぐるみがいいかもしれないな。</p> </div>	<p><b>かんがえ力</b></p> <p>・相手や目的に応じて提案内容を考えていることができる。（振り返り）</p> <p>・「現状－課題－解決策」が一貫した提案になるように構成を考えている。（行動観察・振り返り）</p>

8   14	<p>○道の駅での販売会に向けて準備をする。 ◆グループごとに、目的達成に向けて取り組む。 ◆作業の進捗状況を確認しながら児童どうしで評価し合い、見直す。</p> <p>どのグループも販売会で神石牛をアピールできるように考えて準備しているな。それぞれのグループで電話して教えていただいたりお願いしたりしているから、きつとうまくいくよ。 販売会のリハーサルをして、道の駅できちんとできるかどうか確かめてみよう。</p>	<p><b>自分事の問い追究力</b> ・販売会でどのように活動するかを考え、活動を進めることができている。(振り返り)</p> <p><b>ふりかえり力</b> ・作業の進捗状況や自分の取組を振り返り課題を見付け改善することができている。(振り返り)</p> <p><b>みんなと解決したい気持ち</b> ・関係機関と連携を取ったり、関係機関の方や友だちと活動内容について話し合ったり、取組について意見を出し合ったりしようとしている。(振り返り)</p>
実行	<p>○道の駅での販売会を行い、地域へ発信する。 ◆自分から進んで、神石牛の素晴らしさをアピールする。 ◆友だちと協力しながら、自分たちが企画したり作ったものを買っていただけるよう行動する。</p> <p>初めは商品が売れるかどうか不安だったけど、たくさんの方が来てくださってあっという間に売り切れてうれしかった。ポスターやチラシが役に立ったかな。 神石牛が少しでも有名になって、農家の方が増えて、神石牛がたくさん育てられたら、もっとたくさんの方がいつでも買えるようになるといいな。</p>	<p><b>引き受ける心</b> ・他人の願いを自分事として引き受けることよさに気づいている。(振り返り)</p>
ふりかえり	<p>○自分のがんばりや生き方について考えたことをまとめる。 ・わたしは、神石牛を有名にするために何ができるかを考えたとき、マスコットを手作りしたいと思いました。理由は、マスコットだったら、いつでも身近にあって神石牛や神石高原町のことを思い出してもらえるからです。でも、神石牛のマスコットをつくるといっても、どうやったらよいかわからなくて困りました。ほかのグループの人にお師匠さんを探すとよいと教えてもらって、電話をしてドキドキしたけれど教えてもらえることになったときはうれしかったです。1回で終わりかと思ったら、3回も学校に来て教えてくださったので、もっとがんばろうと思いました。休けい時間もたくさん使って作ったマスコットがあっという間に売れたので、がんばったかいがあったと思います。わたしたちのために、何ができるか、どうやればよいかなど真剣に教えてくださったお師匠さんのように、わたしもなりたいなと思います。</p>	<p><b>するどい目</b> ・触れ合ってきた大人のよさに目を向けながら自分の成長を振り返ろうとする。(振り返り)</p>

## 8 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・関係機関と連携を取ったり、関係機関の方や友だちと活動内容について話し合ったり、取組について意見を出し合ったりしようとする。

### (2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	○指導上の留意点 ☆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
5分	1 具体的な方策について話し合う。 T: 神石牛を有名にするための方法を出し合っ、ハンバーガーチーム、マスコットチーム、動画チーム、着ぐるみチームに分かれて活動を始めましたね。そのなかで、ハンバーガーチームさんが、ハンバーガーをどこで販売するか考えたようです。 C: 道の駅さんわ 182 ステーションで販売したら、たくさんの人に知ってもらえると思いますが、みなさんはどう思いますか。 C: いいと思います。 C: わたしたちもマスコットを作って販売したいです。 T: なるほど。では、道の駅でハンバーガーとマスコットを販売しますか。 C: 販売したいです。 C: ぼくたちの動画も見せたいです。 C: 着ぐるみで盛り上げるのはどうかな。	○前時の活動のなかで出てきた販売する場所についての提案を全体に知らせ、検討させる。	
1分	2 活動の仕方について話し合う。 T: では、今日はどのように活動しますか。 C: グループごとに分かれて、どんなことをするか話し合いたいです。	○本時の活動内容について考えさせ、自分事として取り組む意識をもたせる。	
2分	3 課題を確認する。 T: それでは、今日の課題はどうしますか。 C: 「グループで話し合っって活動しよう」がいいです。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">グループで話し合っって活動しよう。</span>		
27分	4 グループごとに活動する。 T: それでは、グループごとに分かれて、活動を始めましょう。 <u>ハンバーガーチーム</u> C: 道の駅で販売したいけど、自分たちで勝手にできるのかな。 C: 勝手にはできないんじゃないかな。 C: それならどうすればいいかな。 C: 販売してもいいか聞いてみたらいいんじゃない。 C: 販売させてくださいってお願いしたほうがいいんじゃない? C: そうか、ハンバーガーも作ってもらわないと販売できないよね。 C: 道の駅にお願いの電話をしよう。 C: ぼくは、どんなハンバーガーにするか考えている	○合意を形成するような意見を探そうとしている態度を評価する。  ☆話し合いに参加できていない児童には、自分の考えを簡単な言葉でもよいので遠慮しないで伝えるよう声をかける。	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">みんなと解決 したい気持ち</span> ・関係機関と連携を取ったり、関係機関の方や友だちと活動内容について話し合ったり、取組について意見を出し合ったりしようとして

<p>10分</p>	<p>いろ調べてみる。  <u>マスコットチーム</u>  C：神石牛のマスコットのお師匠さんはどうしよう。  オリジナルなものを作りたいよね。  C：だれか、マスコット作りを教えてください方を知らないかな。  C：道の駅で手作り小物を販売されている人が近所にいらっしゃるよ。  C：その人に教えてもらえるかどうか、お願いしてみようか。  C：そうしよう。材料も準備しないとイケないね。  <u>動画チーム</u>  C：神石牛バーガーのおいしさを伝えるために、どんな内容にする？  C：神石牛バーガーを作っているところを撮影したらどうか。  C：その前に、神石牛がおいしいってことがわかるように神石牛を食べておいしいと思っている様子を撮影したらどうか。  C：役割分担を決めて撮影を始めよう。  <u>着ぐるみチーム</u>  C：神石牛の着ぐるみがゆるキャラっぽくできたらいいな。  C：そのためには、表情が大事だね。  C：着ぐるみのモーちゃんが「牛の言葉」で説明するのをぼくたちが解説するようにしたらどうか？  C：神石牛をアピールする歌も作ってみよう。  4 振り返る。  T：各チームの報告を共有して、振り返りを書きましょう。  C：ぼくたちハンバーガーチームは、道の駅に連絡をして、販売する許可をもらいました。どんなハンバーガーにするか考えて、次の時間には、試作ができるよう準備します。  C：わたしたちマスコットチームは、マスコット作りのお師匠さんを探して、お願いをしました。教えてもらえる日を相談して決めたので、次の時間には、材料を準備します。  C：わたしたち動画チームは、撮影する動画の内容を話し合っ決めてました。どんどん撮影をして編集したいです。  C：ぼくたち着ぐるみチームは、神石牛を作っています。ゆるキャラっぽくなるように表情の工夫をしています。神石牛の歌も考えています。  T：今日は、話し合うとき、細かなことまで意見を出し合っってよい方法を見つけ出しているチームがありました。これは、「みんなと解決したい気持ち」だんと思いました。それから、お願いの電話や調べ物などをうまく分担してやっているチームがあり</p>	<p>○自分たちがしようとしていることに対して必要なことやもの、人を見極め、準備しようとしたりお願いしようとしたりしている児童を評価する。</p> <p>☆自分がどう行動するとよいかわからない児童には、チームの友だちに尋ねてみるとよいことを伝える。</p> <p>○相手意識や目的意識をもって活動しようとしている児童を評価する。</p> <p>○資質・能力の観点に沿って活動していた児童を評価する。</p>	<p>いる。(行動観察)</p> <p><b>みんなと解決したい気持ち</b>  ・関係機関と連携を取ったり、関係機関の方や友だちと活動内容について話し合ったり、取組について意見を出し合ったりしようとしている。(振り返り)</p>
------------	--	---	---

	ました。自分の仕事を一生懸命やっている人がいました。一人一人が自分の仕事に責任をもって取り組んでいる姿が「自分事の問い追究力」だと思いました。		
--	---	--	--

(3) 板書計画

**神石牛を有名にしよう**

課題 グループで話し合って活動しよう。

ハンバーガーチーム

道の駅さんわ 182  
ステーションで  
販売したい!

わたしたちも  
販売したい!

マスケットチーム

<b>ハンバーガーチーム</b> ・道の駅で販売 ・試作	<b>動画チーム</b> ・撮影開始 ・編集
<b>マスケットチーム</b> ・お師匠さん決定! ・材料準備	<b>着ぐるみチーム</b> ・ゆるキャラ ・神石牛の歌